

森町防災ハザードマップ

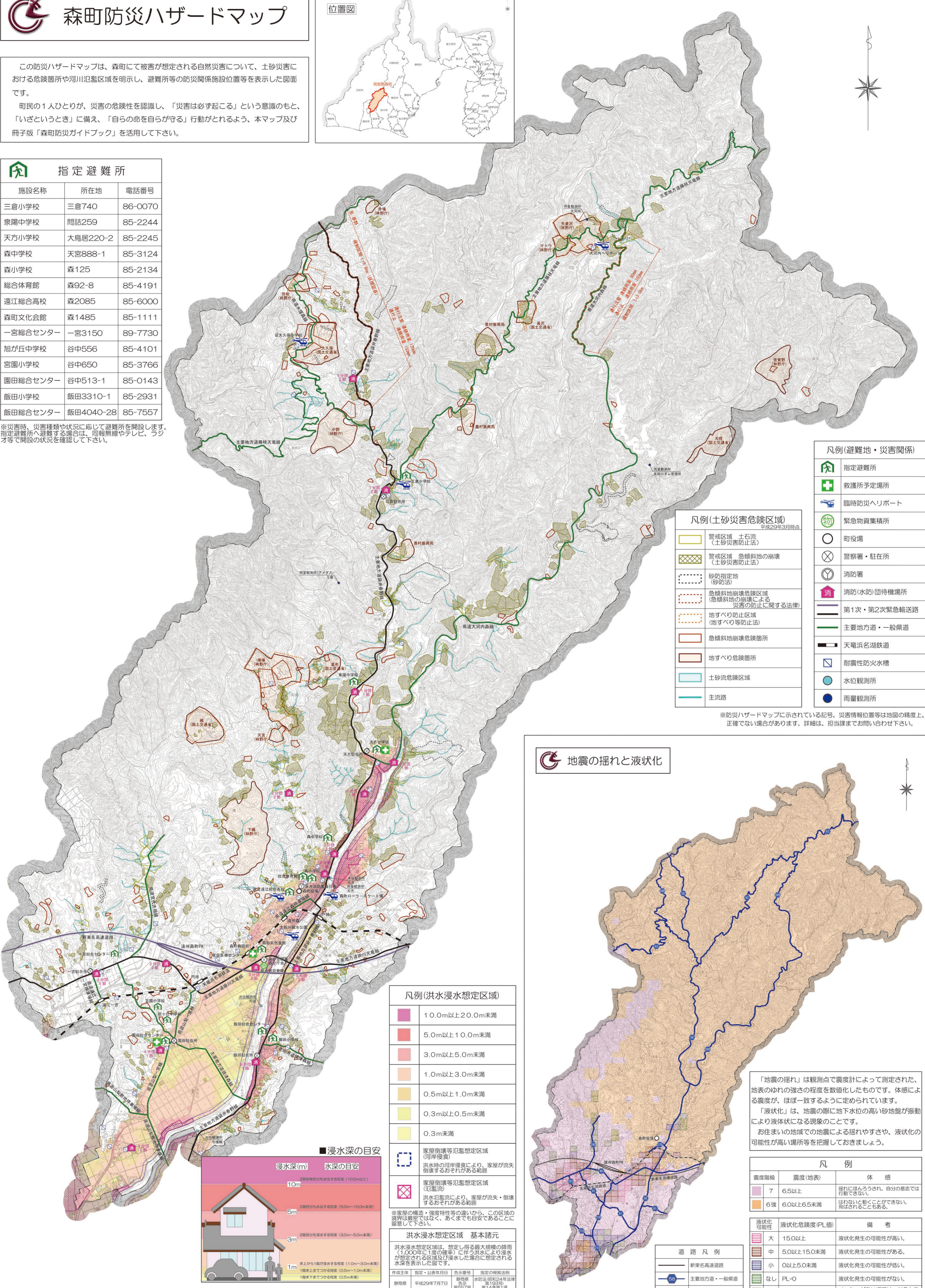


この防災ハザードマップは、森町にて被害が想定される自然災害について、土砂災害における危険箇所や河川氾濫区域を明示し、避難所等の防災関係施設設置位置を表示した図面です。

町民の1人ひとりが、災害の危険性を認識し、「災害は必ず起こる」という意識のもと、「いざというとき」に備え、「自らの命を自らが守る」行動がとれるよう、本マップ及び冊子版「森町防災ガイドブック」を活用して下さい。

施設名称	所在地	電話番号
三倉小学校	三倉740	86-0070
泉陽中学校	問詰259	85-2244
天方小学校	大鳥居220-2	85-2245
森中学校	天宮888-1	85-3124
森小学校	森125	85-2134
総合体育館	森92-8	85-4191
遠江総合高校	森2085	85-6000
森町文化会館	森1485	85-1111
一宮総合センター	一宮3150	89-7730
旭が丘中学校	谷中556	85-4101
宮園小学校	谷中650	85-3766
園田総合センター	谷中513-1	85-0143
飯田小学校	飯田3310-1	85-2931
飯田総合センター	飯田4040-28	85-7557

※災害時、災害種類や状況に応じて避難所を開設します。指定避難所へ避難する場合は、同報無線やテレビ、ラジオ等で開設の状況を確認して下さい。



凡例(土砂災害危険区域)

平成29年3月時点

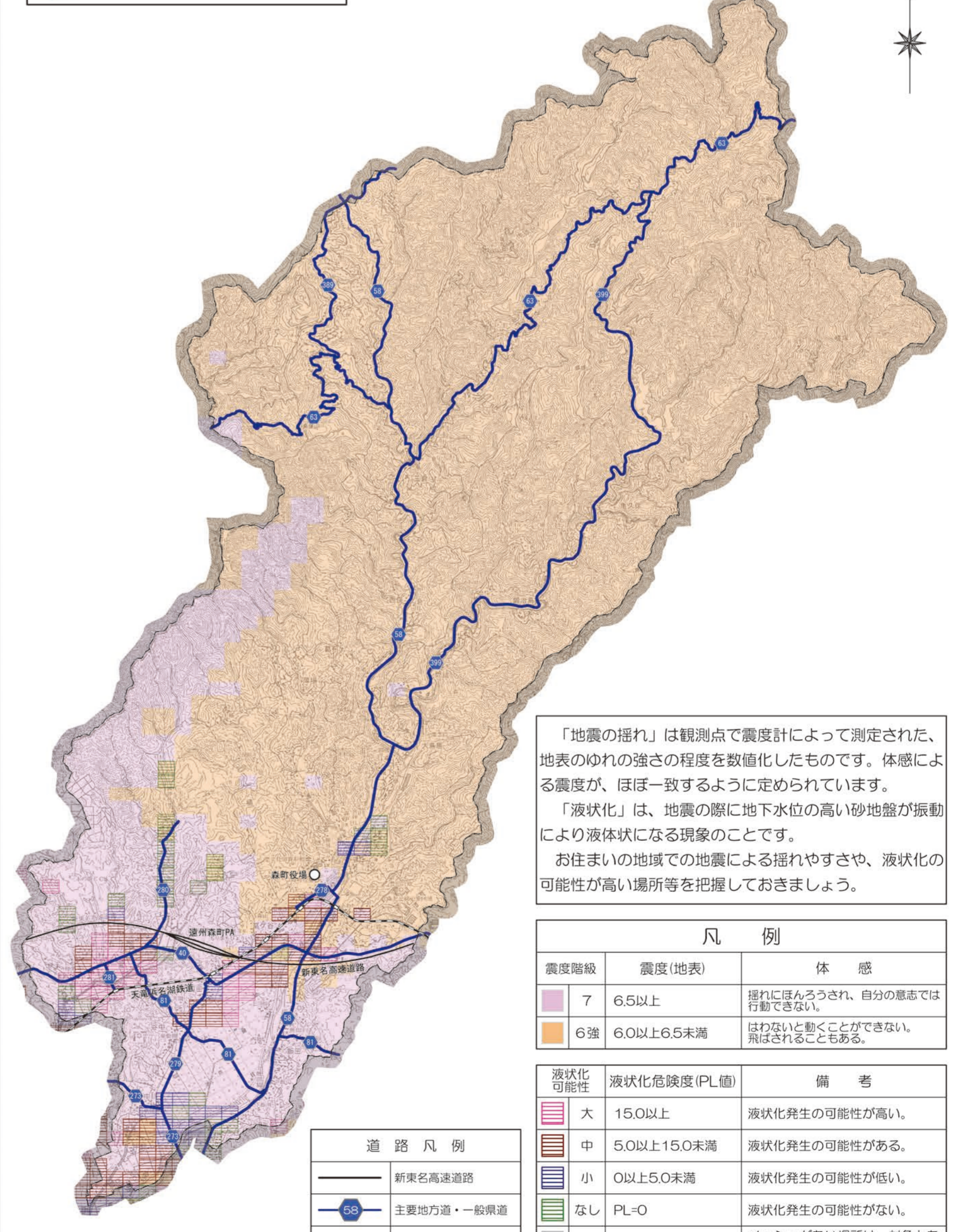
- 警戒区域 土石流 (土砂災害防止法)
- 警戒区域 急傾斜地の崩壊 (土砂災害防止法)
- 砂防指定地 (砂防法)
- 急傾斜地崩壊危険区域 (急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律)
- 地すべり防止区域 (地すべり等防止法)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 土砂流危険区域
- 主流路

凡例(避難地・災害関係)

- 指定避難所
- 救護所予定場所
- 臨時防災ヘリポート
- 緊急物資集積所
- 町役場
- 警察署・駐在所
- 消防署
- 消防(水防)団待機場所
- 第1次・第2次緊急輸送路
- 主要地方道・一般県道
- 天竜浜名湖鉄道
- 耐震性防火水槽
- 水位観測所
- 雨量観測所

※防災ハザードマップに示されている記号、災害情報位置等は地図の精度上、正確でない場合があります。詳細は、担当課までお問い合わせ下さい。

地震の揺れと液状化



「地震の揺れ」は観測点で震度計によって測定された、地表のゆれの強さを数値化したものです。体感による震度が、ほぼ一致するように定められています。

「液状化」は、地震の際に地下水位の高い砂地盤が振動により液状化になる現象のことです。お住まいの地域での地震による揺れやすさや、液状化の可能性が高い場所等を把握しておきましょう。

凡例

震度階級	震度(地表)	体感
7	6.5以上	揺れにほんろうされ、自分の意志では行動できない。
6強	6.0以上6.5未満	はわないと動くことができない、揺はされることもある。

液状化可能性	液状化危険度(PL値)	備考
大	15.0以上	液状化発生の可能性が高い。
中	5.0以上15.0未満	液状化発生の可能性がある。
小	0以上5.0未満	液状化発生の可能性が低い。
なし	PL=0	液状化発生の可能性がない。
対象外		メッシュがない場所は、対象となる地層がない。

凡例(洪水浸水想定区域)

- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.3m未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(沿岸浸食)
- 洪水時の河岸侵食により、家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 洪水氾濫により、家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲

※家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

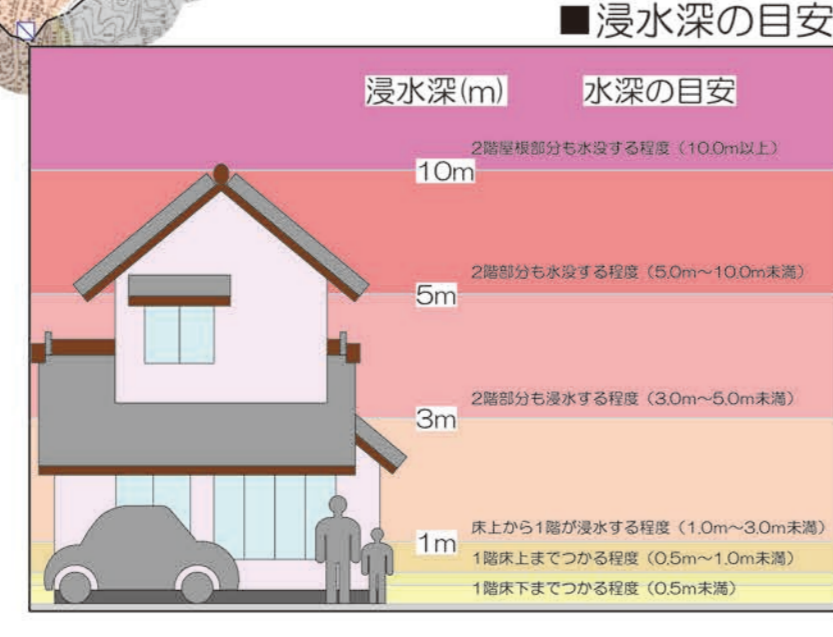
洪水浸水想定区域 基本諸元

洪水浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨(1,000年に1度の降雨)に伴う洪水により浸水が想定される区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図です。

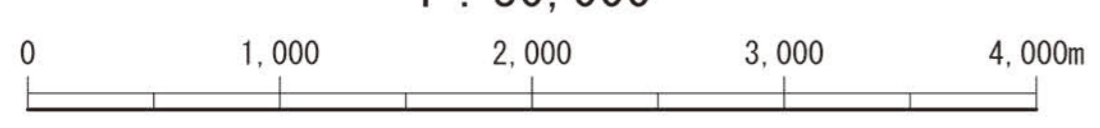
作成主体	指定・公表年月日	告示番号	指定の根拠法
静岡県	平成29年7月7日	静岡県告示第19号	水防法(昭和24年法律第14号)第1項

対象となる洪水予報(河川・雨量)

水系名	流域名	雨量
太田川水系	太田川	24時間雨量 629.5mm
	藤野谷川	
	敷地川	



1 : 30,000



1 : 70,000



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平29情使、第419-G1SMAP39351号)